



医学・看護学教育通信

第8号
発行 2007.7.7

佐賀大学医学部 教育広報部会

医学部の教育改革がNHK 報道番組になりました

5月末から6月中旬にかけて、佐賀大学医学部の先進的な教育への取り組みがNHK番組として放映されたことは、皆様ご存知のとおりと思います。

- 「おはよう日本」ニュースファイル佐賀 5/21 放映
- “患者本位”の医師を育てる 佐賀大学医学部の挑戦 「九州沖縄インサイド」6/17 放映

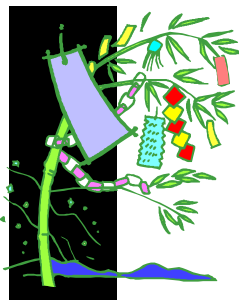
前者は主として臨床実習前教育で行っているPBLについてであり、後者は地域医療への貢献を志向し、幅広い臨床能力の養成のために実践的な教育カリキュラムづくりを進めてきた本学の取組を描いたものです。収録時にイメージしていたものよりも、視聴者寄りの編集にはなっていました。丁寧な取材に基づいた内容のある番組であったと思います。

本学の教育は、未だ発展途上であり、解決すべき課題をいくつも抱えていることは言うまでもありません。しかし、現代の大学は、社会のニーズに対してどのように問題意識を持ち、改善に努力しているかの情報を、発信していかなければなりません。

地域の理解・支援を得ること無しには、医学教育改革は実現しえません。また、学習の主体である新入生には、偏差値ではなく、教育の内容によって本学を選択してほしいと思います。

学内外の理解に支えられた、活気に満ちた教育現場を創造してゆくために、本「通信」は積極的に情報を発信してゆきます。

(広報部会長 小田康友)



スキルスラボ利用者延べ人数 4,000 人突破！

6月7日(木) 第1回臨床医学看護教育・スキルスラボ研究会が、大阪国際会議場で開催されました。はじめに慶応義塾大学、天野教授による特別講演「医学・看護教育におけるスキルスラボの重要性」があり、慶応義塾大学におけるスキルスラボの運用・管理のあり方が紹介されました。引き続き「スキルスラボの開設・管理・運営の諸問題」についてのシンポジウムが行われ、どの大学も

シミュレーション器具を取り揃えながらも、少ないスタッフでの管理や運営に苦慮しているという現状でした。

佐賀大学医学部は、卒前・卒後臨床技能教育の充実のために平成16年4月スキルスラボが設置され、学生や学外看護専門学校生の実習や、救急部によるBLS講習会、さらに自己学習にと広く利用されてきました。当初、鍵や物品の貸出などの理由で職員の勤務時間内に利用時間を制限していましたが、利用者から「夕方以降や土・日に利用したい」との声が多く寄せられ、平成17年3月監視カメラ設置、平成18年3月電子錠設置により、利用可能時間が、土・日・祝祭日を含み8:00~24:00と大幅に増えました。

指導教員の方々の熱意や、意欲ある学生のお陰で、昨年度の利用者延べ人数は、4,049人となり、専従スタッフがいる大学なみの利用者数になりました。本格的に稼働して3年目としては好調なスタートです。

今後の取り組みとして

ホームページ作成

ホームページ上で、【スキルスラボ利用予約 確認通知 利用】を可能にすることにより、上級学年の学生や多忙なメディカルスタッフなどが利用しやすくなる。

DVD作成

専門の教員に依頼して、各機材の利用講座DVDを作成する。

以上2点を計画していますが、具体化した時点で、また紹介させていただきます。

最後に、学生や研修医の皆さんへの御案内です。

今年3月、代謝・内分泌 江口有一郎先生にお願いして、腹部超音波シミュレータ用DVDを作成しました。とても丁寧な説明入りの腹部超音波シミュレータ講座です。腹部超音波シミュレータ利用を希望される方は御連絡下さい。

その他、スキルスラボの運営等に御意見、御要望やアイデアなどございましたらお寄せ下さい。

(地域包括医療教育部門 酒見隆信・大坪芳美)

教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、江村正、藤田君支、田崎法人

ご意見をお待ちしています (oday@cc.saga-u.ac.jp)。